



平成 28 年 2 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社ジョイフル本田
代表者名 代表取締役社長 矢ヶ崎 健一郎
(コード番号 3191 東証第一部)
問合せ先 専務取締役・管理本部長
兼 経営企画部長 矢口 幸夫
(電話番号 029-822-2215)

当社連結子会社における不適切な会計処理に関する金額について

当社は、平成 28 年 1 月 14 日付「当社連結子会社における不適切な会計処理について」で開示したとおり、連結子会社である株式会社ホンダ産業（以下「ホンダ産業」といいます。）において、平成 22 年度以降、ロス率を低下させることを目的として、架空棚卸資産を計上する等の不適切な会計処理が行われていた可能性が判明したことを受け、同日付で調査委員会を設置し、現在厳正かつ徹底した調査を進めております。

本日、調査委員会より、本件不適切な会計処理に関する金額について報告がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 不適切な会計処理の金額

調査委員会において、現在、不適切な会計処理の事実関係等の調査を行っておりますところ、かかる調査の一環として行ったホンダ産業の全店舗における実地棚卸の結果および現時点までのその他の事実調査の結果より、不適切な会計処理の額は、累計で 75 百万円であると判明いたしました。

当該不適切な会計処理が当社連結業績に与える影響は軽微であると考えております。そのため、当該不適切な会計処理の額 75 百万円につきましては、平成 28 年 6 月期の第 2 四半期決算において、売上原価として処理する予定です。

2. 今後のスケジュールについて

上記不適切な会計処理の影響額については、平成 28 年 6 月期第 2 四半期報告書および決算短信において反映させる予定です。

なお、平成 28 年 6 月期の第 2 四半期決算発表および第 2 四半期報告書提出については、従前どおり平成 28 年 2 月 3 日に行う予定です。また現時点において、当社の通期連結業績予想の修正はございません。

また、調査委員会は、当初の予定どおり、平成 28 年 2 月中旬頃を目処に当社に対して報告書を提出する予定です。当社は、調査委員会の報告書を受領後、すみやかにお知らせいたします。

本件につきましては、株主および取引先の皆様をはじめ関係者の皆様に、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますことを、重ねて深くお詫び申し上げます。

全役員および全従業員が一丸となって、皆様の期待に応えるべく努力してまいりますので、今後ともご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上